

2024年3月28日

「米国・東北フェア 2023」への取り組み結果（報告）

東北経済連合会（会長：増子次郎、以下、当会）では、PPIH（ドン・キホーテを運営する㈱パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス）と連携し、2017年から東北・新潟の生産者による米国向け産品輸出拡大を目的として「米国・東北フェア」に取り組んでいます。

当会は、「米国・東北フェア」の出展者選定のための商談会を主催し、東北・新潟ならではの特長ある産品を発掘しています。2023年4月に実施した「米国・東北フェア 2023」向けの商談会では、参加46社中35社がPPIHとの成約・フェアへの出展に至りました（35社中8社は新規）。

「米国・東北フェア 2023」は2023年9月から12月にかけて、米国で日系スーパーを展開するPPIHグループ企業「MARUKAI CORPORATION」、「Don Quijote USA」および「QSI」により、米国カリフォルニア州およびハワイ州の17店舗で開催されました。

ハワイの店舗では、コロナ禍で中止されていた試食販売が4年ぶりに行われ、お客様に商品の魅力を直接伝えられたこともあり、PPIHによるとフェア全体で過去最高の売上額（金額は非公表）となりました。東北・新潟の産品では、特にコメ、菓子類、ヨーグルト飲料、フルーツジュース、水産加工品などが好評であったと聞いています。

これまでのフェアで好評だった生産者は、フェア以降もPPIHとの取引が継続しており、東経連の聞き取りでは23社の継続取引が判明しております。当会では引き続き商談会を開催し、東北・新潟の魅力ある産品の発掘と輸出拡大につなげてまいります。

なお、当会では、2024年9月から11月に予定されている「米国・東北フェア 2024」に向け、米国現地バイヤーもオンラインでつないだ商談会を2024年4月に開催します。

以 上



フェア会場の様子（ハワイ）



陳列された商品（カリフォルニア）

【本件担当】（一社）東北経済連合会 食・観光グループ 東山 022-397-6965

「米国・東北フェア」取り組み実績について

1. 「東北フェア」に向けた東経連主催商談会実績

※2021年度はコロナ禍により中止

回数	年度	参加社数	成約社数	成約率
第1回	2017	54社	43社	80%
第2回	2018	44社	34社	77%
第3回	2019	43社	36社	84%
第4回	2020	28社	25社	89%
第5回	2022	26社	25社(6)	96%
第6回	2023	46社	35社(8)	76%

※()は新規参加者。第1～4回は統計なし。

2. 「東北フェア 2023」成約社数の県別内訳

青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	合計
9社	1社	2社	10社	5社	4社	4社	35社

3. 「東北フェア」販売実績

※2021年度はコロナ禍により中止

回数	年度	取扱アイテム数	実演販売社数	主な販売商品
第1回	2017	183品目	19社	水産加工品、リンゴジュース
第2回	2018	277品目	27社	おでん、うどん、ラーメン
第3回	2019	301品目	20社	米、揚げかまぼこ
第4回	2020	316品目	コロナ禍中止	ポイル帆立、フルーツ大福
第5回	2022	203品目	コロナ禍中止	米、おでん
第6回	2023	243品目	7社(ハワイのみ)	しじみ汁、ラーメン

4. 東北フェア事業スキーム

